

Jun. 1963

|

Mar. 1964

重要メモ綴

アノノ

1963

No.

自	年	月	日
至	年	月	日

御使用済みのリーフは此の表紙に綴込んで保存して下さい

重要メモ綴

アノ2

1963

No.

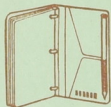
自	年	月	日
至	年	月	日

御使用済みのリーフは此の表紙に綴込んで
保存して下さい

全国共通規格品

- ◎パイロットルーズ手帳はパイロット万年筆インキと同様全国的に販売されて居り最も多数の方から御愛用と信頼を戴いて居ります。
- ◎此の手帳は全国共通の規格品ですから替紙は何処でも入手出来ます。
- ◎当社特製のスマートでカサバラない薄型手帳も好評を戴いて居ります。

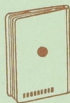
—真心こめた御進物に—



(A)



(B)



(C)

名入れマーク等は浮出し又は金文字にて御希望の所にお入れ致します。(百冊以上)

(ルーズ手帳寸法表)

種別	表紙寸法(mm)	リーフ寸法(mm)	リーフ穴数	リーフ枚数
特大	164×109	150×96	8	60
大	136×85	124×70	8	60
中	114×76	106×60	6	60
薄型中	111×73	106×60	6	30
極薄型中	111×73	106×60	6	30
小	105×76	96×60	3	60
薄型小	102×71	96×60	3	30

サロベツ

1963年

Jun 24 午経 4時 出来

Jun. 25 晴

丸山

ヤケダモ林

ツツドリ

アオマシコ

コヨシキリ

カツカウ

ニユウアイズメ

アオジ

カウヒク

ウグイス

4クドリ

エッセニユウ

コケラ

シジユウカウ

ヒコスギ

キジバト

オオアマガハシ

4クドリ

メホソ

ハシホソカウ

カツネ道 丸山 新林 丸山 集野

アオマシコ 二ツトリ 巨ノ川 新

カウヒク 道は 集野のオ

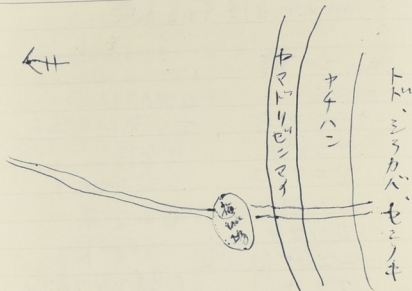
シ 300m は 道 跡 まで

新林 新林 新林 の オドリセニマシ

の 新林 丸山 巨ノ川の 巨ノ川

道 丸山 坊 3x4.5m 丸山

←



海老島

ノビタキ

シマアオジ

ホホアカ

ヒバリ

100 x 200 m

丸山西側

ヨシ・ホロイスト

ミスバシユウ キボウクシ

ヤチハン疎林 バイケイツウ

コヨシキリ

コカウシ

ホホアカ

ベニマシコ

オビシギ

アオジ

ノビタキ

シマセン

丸山西側 ヤチハン疎林

子1羽採集 (鏡 42)

キツネ

BW 1460

TL 590

T 198

HF 119

E 63

JUN 26 薄曇

丸山北側

ホロイスト地帯

ノビタキ 100 羽

丸山西側 ヤチハン疎林

~~ノビタキ~~ マキノセンニユウ

オビシギ 2, 木村前

森林林縁

アリズ

丸山北側 中央 ヒキウギヤチ
ワグスチ ホロウスチ

シマアオジ 鳥類

トマツ 井下水

エゾマンコウ

シジエウガラ

アオジ

ウグイス

エゾムシクイ

カウコウ

Jun. 27 星

丸山 ヤチタニ 森林

キビツキ

丸山 北西側

厚野市(森林から) 300mの所に

キツネツネ親を 発見 午後1時50分

厚野市の中へ少し北に1kmほどは

晴

で2.1日ものヒキウギヤチ
遺肉 晴天にも採食にぞろぞろ
と確認

キツネ子ワナに採集

キツネ親(厚野市で採食後帰った
頃) 半銃に採集. 2時40分頃

キツネの行動半日は厚野市には
少くとも2kmは去りそのヒキウギ
ヤチ

丸山中心地北側はヒキウギヤチ
エゾマンコウ
ヒバク, キツネツネ親
(ハシボツカラス, ムクド)

JUN 28 星

厚野(丸山北側) にヒキウギヤチ

一羽採集

丸山北側森林

~~エゾムシクイ~~ (ツツヒーチー)

エゾアカゲラ

北側厚野—ヤチタニ地帯

ヒキウギ

エゾアカゲラ

エサメビツキ

オシドリ ♀
TL 468 T 109 W 234
F 51 B 32

28日午後 10時入沼へ
29日午後 10時帰ル
30日朝 札幌着

10時入沼へ行く途中ぬいパング
沼周辺に数羽のフウヒをみ
砂丘林にはツバキが多いとわかる。

新しい鳥

メボソ
オシドリ
ヒメズイ

オシドリ (養鳥)
Jul. 13 稚内着 14日 案内

北川武雄調査報告

6月 6日
10月 25+1 86~87

中心部 ヒバリ, シマアオジ, 1ヒツキ
中間部 シマアオジ, 1ヒツキ, ホホアカ
マキノセニコウ, ヒバリ
周辺部 アカモズ, カツコウ, アオジ
ベニマシコ, ホホアカ, ノゴマ
ユヨシキリ, オオジシキ,
オオジュリン

森林内沼 ミコアイサ, キンクロハジロ,
ヨシガモ, ~~ヒ~~ヒロウドキンクロ
アカエリカイフアリ

森林. カウチキ キツキチ (クマケウ, アリスイ)
アカウ, コマドリ, エゾクシクイ,
ヤブサメ, コクハドリ 等 58種

1963. 12. 11.
アト-ハ 試験
キツネ 雄
BW 8.7 kg
♀
TL 97 cm
T 35 cm
H 8.2 cm

1963 12. 13
アト-ハ 試験
キツネ ♀
TL 97
T 35
BE 7.5
HF 15.5

● Aug 26 4才
● エライヤコウ
● カワコウ
● アト

- ① ~~小井君 寄稿~~
- ② 会長 現 報告
- ③ 会長 現 挨拶

~~キツネ 今早~~
~~交配 達 (子)~~
徳島 4440 本社

野原懇話会 松林華会館
12月12日

アイヌ

- 旭川 1964-3, 17~18
- 明治40年代 上士別
- 夢見が悪かった、夜死した親
(西幸)がいて早く帰水
といわれたので何か悪いことが
あ子と思われた。その後山で
犬が 糞をみつけたが先に帰って
1半の木の登った 糞をうったから
後が平れた
- 奥の死にたその夢でみた場合は必ず
死人がある
- トビが自分の胸でても平でも
はいった夢をみた時はよい
- (村山才一) 御時
- 悪夢をみた後 鹿の子
- 「涼しい」時は左腕の白と黒の糸
もよったものを早く、子法は着るかける
よった物の先に「フツ」を1歩
- 悪い風邪か 15や子おきい 1才の
大口にもやしてよくとよい。1
家の フツを先に(1) 17ウ

エツツクワ

ラツツ(羽)をとりたぬ

イソサシカイもこの場合今は
矢や金矢砲ではなく2 snare
細い糸で車輪を作り足で
釣る。この糸は カゴイラクサ
の繊維で織る。イソツタ(ワ)
頭と車はイソウをつけておき
る。イソサシカイかくまひ籠の
居場所をおしこむとわかる。

サラニツツクワ材料

ニカゴアツ (オヒヨウ)

ゴトウツツ

キナ

ナツテ

ミナのは

カトニ

灯心の束うもの

イニカトニ

ミナのは

油は桑油。

アツツ

サシの骨をヒヤ 湖に切りかりはし
にましたぬもの

(アツツ)

せき

サケエツツ、^{アツツ}足つきの糸をばしし
る皮をはいて、^{せき}拵でたぬ
とばすらし、クマの油で^{アツツ}せ
たぬ (焼いて) 24
ス4ウニケエツツと云う

4

173ツツ アキアツの足のアツツ
部有からとりのり。12つぬり
矢に使うのりは173ツツを使
場合が多い。

足の足はエカを9段とつた
かあり。金矢砲もいらずエカ
山の果ておいとむと雪にぬか
つたものを拵でたぬ器した。

ツノの長さは5-8cm位の
もの、よく乾燥したもの
この場合穴の入口に糞を3本
か4本又はこれ以上立て、糞が
びびりなくしておいたことがつく。

北見のアサリ採取の場合
男が痛むときは毎年前中
は便所に行き此外はあま
り外に出たり、するとは
よくない。家の中が静か
にして置くことは存しない。

ラダツツア

アイヌギをまきんだもの袋に入れたもの
シカレバ(ニコロの糞)のを火にかけて
米、竹キコを新しく乾燥したもの
を

コウジを袋に入れたものを出て
行った時火をたいておこし
る。山でアトウツルの皮で

6畳位の広さをかき、その中
にたまたま山の神にこた
けの場所を自分のかして
くわと祈る。山の産物を採った
場合はこの周囲を囲んで
行う。山の安全を祈る

羽幌くまをばかして来た老人
が山下大勢の人と行き最後列に
いたのん前がきまてくわした。
エタラツツでもくまかきできた
る鎌で殺しせよとつた人
人が鎌を握りあつた時向
にたえかきてくわした。
このようにくまの悪口をいうもの
ではない。

熊の骨 山では解体した
のあつてくま。家では又甘
あく。たかあ中は“こたか”運
んでつた。

新井田 勝雄
明 38年大。

父のついで 23日の時227
5大

アマツボ 野崎 28-29才半の
雄一太 (アマツボ)

ついで 持一 鉄匠 トンネル

ついで 持一 には行った。 採りてき
てきた 春先。

4カ7. アスロ. 4才の人が金銀
~~木~~ 2と4のりた

ついで 強さ 草の根を
4大 だけてわかる

5番川の

あつた 釘木 3 存佐の店を
てあつた 新は しをいをつけて
あつた 春

9月の末. 26日 古びて かつ
持一 持一の かつ 春先。

スウツボツボ — これ位のラマ
かいてこれ位のあつたは 子に
をいかけた。 新 春先の
イナをいかけた。 これ位のし
てあつたのせい

アマツボ)

ついで 糸 17°カ

子の部分 5と10

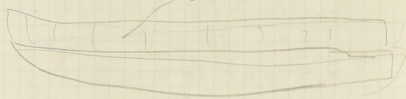
うし 17°カ 98頭をいきた。

3カ7°カ ^{17°カ} をいきた。

アライタ, ハスイチカ (木) の話

6-7 七の話を

3カの話



3カ7°カ 5-6 年 採り

9尺位の木7°

サケの骨、新井田
大正発祥 祖田から作る
一冬と作るから。

その後、厚肉、作るから
これより一冬と作るから
作るから作るから。

クハコ

醤油一セリから作るから
次のアハコをサケの骨
(物田)を作る

作り、心臓を食ひ切る
大切

ツボルキルコ - 脂油肉
をイテウにかけると

(分取) 2つと3つを等分に分ける。

- 作りかたを5つに分ける。
- 作りかたを5つに分ける。
- 作りかたを5つに分ける。

セイゴ - 大

腸 - 洗って。

腸をサケの骨に入れて塩を入れる。

腸の油を切る

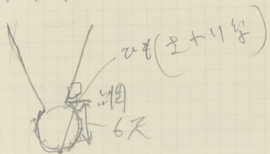
アハコ - 作りかたを5つに分ける

作りかたを5つに分ける

作りかたを5つに分ける



ウライ.



網=ヤ.

スネカハ — 2イロをかけた
アキアハをひく

スネ—タケマツ

14 14の2222 1-210

エトアツ2222

テマ—アツマ

山の街。 ^{シブシ} ^{——} ^沖
キ~~4~~ツイパシクマ

特別な言葉 かなり ~~大~~

簡量にはおこしたなり、
しおきの中た場合この言葉を
えつと進められた。

セツハ

シホ^{陸の便り}ツイパシクマの一種

野山

26本の時 (ア22 915)

ウ2425 27 ^{おの test}

ウツイモ2キレ — 1種をまのり

もやんかかきせ/場合

夏口22 (た場合)

しかし24 (人色の方) を使った
部派かこむの2つか3のを
きろく。

場合
使
3

レボウイパニマ を読む人の中
は、人をもつて、うをうこ
ひるかど、かどあつて知るるか
のちを。

これはカウイノシニもたぬ
であら。術は術にてた
より方法がない。

（持をかけた）~~人~~人の家や
系統はほるむとほる。

術で悪いことをのつたり
たぬ。

ウイパニマは神代にた

(P)アイ+カウイ一人向の平和を執
う神。今のアイの
戦のカウイカアイ

ウイパニマ

接
の
神。

レボウイパニマの理は
新落のつてたつた。

流のつてたつたはカウイノシ

ウイパニマ 月をたぬ
湖へ子 (5/27)

潮

ウイパニマ
離れりしに前カウイノシ
後山かたつてたつた

神を尊む山への喜道を祈
るため人をとめたりは妻は
あつた遠くつてたつた

元人かたつてたつた
時は親せきの人のつてたつた
こはつてたつた

たをたかゆ令木ハ跡か
火をつけ。息のかつてたつた
神のつてたつた

猫のいる家のカ41は
20年位前から行つて来た
猫の場所の神。
74カ41

一番はイノシシカ41

トキ
ハツチ
シナヅ
マキリ
新に使う道具

悪い事をみだりな神に
行。

悪い事をみだりな神に
やオビにさすおりに
と ~~カ~~ 72カ41をく
えしたてかた

74カ41 (不効) カ41A24
7377°22カ41

悪魔をみだりな神に
行。

- 他人の家の悪魔をみだりな
- その家の主をいじめてお
と目をつくるカ41
う心をさす
- 寿命だけは

ホ 20

ホニツツ

- 72カ41は行つた時カ41を
スルカ41 - 2時ほど
毒 2時ほど
金通の72は 2カ41

72カ41は500円以内

知をとりた場合

紫をり → うつら → かまご

4ヤ

74ヤ - 山小屋 猫小屋

トウイマク4ヤ - ^{遠い}山小屋 ^{36年前}

皆 同国に住は 籠城にち
帰った

●

70トウ - 4ヤを切った骨を
うたつたもの。

トウを切ったのは
お徳のおやうになる

32ヤを - 春の日をいれほうた
42ヤ

44 = 770

FLC 集

アイン

矢の先の4ヤには エルン

うけありの2 ~~ヤ~~ 飛んだ

知の所有か はずりす

他人か うつた矢で 3ヤ

知を 捕取りするときは

絶えずにいけないうさ

この人も 家族か はずり

かありえる

アマノホをしかけた場合

又は 捕獲は この人の

大伴をいれ 2ヤ

木をけつて ~~2~~ 4ヤ

を 表す。

カウイボイ又 悪い神(熊)
人を殺したりする熊のこと

カウイボイ
女子 14

カウイボイの鳴き声
は、熊の子供を
帰したくないと云うわけ
の場合もある。山小屋の
24か所ほどに鳴き聲
がするといふ。あつたか
あつたか、帰ったぞ、これぞ
この小屋か、おや、おや、
ついでと云うた。
豊後県 穂別川

昭和24年

このカウイボイは
狩人によつて大抵有害とい
ふのである。

この川は、樽前、美咲、
西の川、穂別川、あつた。

下痢 — カウイボイの
食

ハニキ — お産後、前
はとま

キキ — 風邪

風邪の神をおこす場合
米、アズキ、コウジ、アムロ、を
おせんじ、おたの神に
おまわす

うらうら — せむし、中味の
か、い
か、い

ヒバ — 14) 芽をいじ
トクヒバ — 混

エサマニ = カウウソ

エイの毒

ハナフスデ — うちみ その皮に
煎して漬るか
湯には絶対
はけ

アサギ — スルガの力かよす
場合代りに利用
さす場合もある
煎してつめて使う。

トドの皮を持ってクマの糞に
びびはいいない。トドとクマは昔
けんかいに海と山にわかれ
てトドの皮肉でつくったものを
とって山にゆくとクマが逃げ
はる。クマの皮を焼くこともよく